



HSBRX63NC シリーズ

HSBRX631C シリーズ

取扱説明書

ルネサス エレクトロニクス社 RX63N グループ、RX631 グループマイコン搭載
HSB シリーズマイコンボード

–本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用下さい–

株式会社 **北斗電子**

REV.3.2.0.0

- 目 次 -

1. 注意事項.....	2
2. 安全上のご注意.....	3
3. 概要.....	5
3.1 特徴.....	5
3.2 製品内容.....	5
3.3 仕様.....	6
3.3.1 マイコンボード.....	6
3.3.2 実装コネクタと適合コネクタ.....	6
4. ボード構成.....	7
4.1 ブロック図.....	7
4.2 ボード配置図.....	8
ジャンパ補足図.....	8
4.3 電源入力.....	9
4.4 各種機能.....	10
4.4.1 USB0、USB1 インタフェース.....	10
4.4.2 イーサネットインタフェース※.....	11
4.4.3 デバッグインタフェース.....	13
4.4.4 フラッシュインタフェース.....	14
4.4.5 モード選択・評価用スイッチ.....	14
4.4.6 RESET スイッチ.....	14
4.4.7 評価用スイッチ.....	15
4.4.8 評価用 LED.....	15
4.4.9 拡張 I/O.....	16
4.4.10 電池ホルダー.....	19
4.4.11 CAN0～CAN2 インタフェース.....	20
4.4.12 SDRAM.....	21
5. 動作モード.....	22
5.1 ブートモード選択.....	22
5.2 オンボードプログラマ使用時の端子設定.....	23
6. メモリマップ.....	24
7. こんな時は.....	25
8. 付録.....	28
8.1 ボード寸法図.....	28
8.2 評価用スイッチ・LED 回路図.....	29
8.2.1 評価用スイッチ.....	29
8.2.2 評価用LED.....	29
8.3 ボード購入時の状態.....	30
8.4 取扱説明書改定記録.....	31
8.5 お問い合わせ窓口.....	31

1. 注意事項

本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用下さい

【ご利用にあたって】

1. 本製品をご利用になる前には必ず取扱説明書をよく読んで下さい。また、本書は必ず保管し、使用上不明な点がある場合は再読し、よく理解して使用して下さい。
2. 本書は株式会社北斗電子製マイコンボードの使用方法について説明するものであり、ユーザシステムは対象ではありません。
3. 本書及び製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。本書の無断複写・複製・転載はできません。
4. 弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様に準じております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に、予告無しに変更することがあります。また価格を変更する場合や本書の図は実物と異なる場合もありますので、御了承下さい。
5. 本製品のご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。
6. 未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてご使用下さい。

【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、本書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

【免責事項】

弊社は特定の目的・用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致し兼ねます。ただし、明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、累積的な損害賠償責任は、弊社が受領した対価を上限とします。

本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。

保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

本製品を使った二次製品の保証は致し兼ねます。

2. 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。絵表示の意味をよく理解した上でお読み下さい。

表記の意味



取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある事が想定される



取扱を誤った場合、人が軽傷を負う可能性又は、物的損害のみを引き起こすが可能性がある事が想定される

絵記号の意味

	一般指示 使用者に対して指示に基づく行為を強制するものを示します		一般禁止 一般的な禁止事項を示します
	電源プラグを抜く 使用者に対して電源プラグをコンセントから抜くように指示します		一般注意 一般的な注意を示しています

警告



以下の警告に反する操作をされた場合、本製品及びユーザシステムの破壊・発煙・発火の危険があります。マイコン内蔵プログラムを破壊する場合があります。

1. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままケーブルの抜き差しを行わないで下さい。
2. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままで、ユーザシステム上に実装されたマイコンまたはIC等の抜き差しを行わないで下さい。
3. 本製品及びユーザシステムは規定の電圧範囲でご利用下さい。
4. 本製品及びユーザシステムは、コネクタのピン番号及びユーザシステム上のマイコンとの接続を確認の上正しく扱って下さい。



発煙・異音・異臭にお気づきの際はすぐに使用を中止して下さい。

電源がある場合は電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。そのままご使用すると火災や感電の原因になります。

注意



以下のことをされると故障の原因となる場合があります。

1. 静電気が流れ、部品が破壊される恐れがありますので、ボード製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないで下さい。
2. 次の様な場所での使用、保管をしないで下さい。
ホコリが多い場所、長時間直射日光が当たる場所、不安定な場所、衝撃や振動が加わる場所、落下の可能性がある場所、水分や湿気の多い場所、磁気を発するものの近く
3. 落としたり、衝撃を与えたり、重いものを乗せないで下さい。
4. 製品の上に水などの液体や、クリップなどの金属を置かないで下さい。
5. 製品の傍で飲食や喫煙をしないで下さい。



ボード製品では、裏面にハンダ付けの跡があり、尖っている場合があります。

取り付け、取り外しの際は製品の両端を持って下さい。裏面のハンダ付け跡で、誤って手など怪我をする場合があります。



CD メディア、フロッピーディスク付属の製品では、故障に備えてバックアップ（複製）をお取り下さい。

製品をご使用中にデータなどが消失した場合、データなどの保証は一切致しかねます。



アクセスランプがある製品では、アクセスランプが点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットをしないで下さい。

製品の故障の原因となったり、データが消失する恐れがあります。



本製品は、医療、航空宇宙、原子力、輸送などの人命に関わる機器やシステム及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などに用いられる事を目的として、設計及び製造されております。

医療、航空宇宙、原子力、輸送などの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身や火災事故、社会的な損害などが生じて、弊社では責任を負いかねます。お客様ご自身にて対策を期されるようご注意ください。

3. 概要

3.1 特徴

本製品は、フラッシュメモリ内蔵のルネサス エレクトロニクス製マイコン RX63N もしくは、RX631 を実装したマイコンボードです。下記 14 点の特徴があります

- ・RX63N もしくは RX631 実装
- ・イーサネットインタフェース 1ch 搭載※1
- ・USB インタフェース(USB-A) 1ch 搭載 (ホスト:USB0)
- ・USB インタフェース(USB MINI-B) 2ch 搭載 (ファンクション: USB0,USB1)
- ・E1・E20 エミュレータ接続用インタフェース(14P)搭載
- ・E20 エミュレータ接続用インタフェース(38P)搭載可※2
- ・フラッシュインタフェース (20P) (高速フラッシュメモリ書込み) 搭載
- ・評価用 LED 2 つ搭載
- ・評価用ボタン・スイッチ 2 つ搭載
- ・モード選択スライドスイッチ 1 つ搭載
- ・バッテリーバックアップ機能評価用電池ホルダー搭載
- ・CAN インタフェース 3ch 搭載 (CAN0～CAN2)※3
- ・各 CAN インタフェース用 CAN バストランシーバ実装済で最大 3 つの CAN ネットワークに即参加可能
- ・SDRAM (32MB) 1 つ搭載

※1 HSBXR631 シリーズマイコンボードはイーサネットインタフェース及び関連部品は未実装

※2 追加オプション

※3 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満は 2ch、J8 CAN インタフェース及び関連部品は未実装

3.2 製品内容

本製品は、下記の品が同梱されております。ご使用前に必ず内容物をご確認下さい。

・マイコンボード	1 枚
・DC 電源ケーブル	1 本
※2P コネクタ片側圧着済み 30cm (JST)	
・4P CAN 通信ケーブル(コネクタ片側圧着済み 50cm) (JST)	
-内蔵 ROM 容量 1.5MB 以上マイコン搭載製品	3 本
-内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満マイコン搭載製品	2 本
・回路図.....	1 部

3.3 仕様

3.3.1 マイコンボード

下記“実装マイコン型名”いずれかのマイコンが実装されています。必ず実装マイコンの記載型名をご確認下さい。

マイコンボード 型名	実装マイコン型名	内蔵 ROM	E2 データ フラッシュ	内蔵 RAM	ボード電源	マイコン 電源範囲	消費電流 実測値
HSBRX63NC	R5F563NADDFC	768K	32K	128K	DC5V	2.7～3.6V	140mA (出荷前テストプログラム動作時での 実測値、拡張 I/O は全てオープン)
	R5F563NBDDFC	1M	32K	128K			
	R5F563NDDDFC	1.5M	32K	128K			
	R5F563NEDDFC	2M	32K	128K			
	R5F563NFDDFC	2M	32K	256K			
HSBRX631C	R5F5631ADDFC	768K	32K	128K			
	R5F5631BDDFC	1M	32K	128K			
	R5F5631DDDFC	1.5M	32K	128K			
	R5F5631EDDFC	2M	32K	128K			
	R5F5631FDDFC	2M	32K	256K			

実装クロック メインクロック(X1): 12MHz サブクロック(X2): 32.768KHz イーサネット用※2(X3): 50MHz	ボード外寸 84.00mm × 96.00mm (突起部含まず)	電池ホルダー (BATT1) BK-890 (TAKACHI 製)
CAN バストランシーバ (U3・U4・U5) ※1 HA13721RP (又は同等品) ルネサス エレクトロニクス製	イーサネットコントローラ (U8) ※2 LAN8700IC (SMSC 製) RMII モードで接続	SDRAM (U2) MT48LC16M16A2 (Micron 製) 32MB (=256Mbits) (16MB × 16bits) 相当 16bits データバス

ソケット仕様時
実装マイコンパッケージ: PLQP0176KB-A 実装ソケット型名: NQPACK176SD-ND (東京エレクトック)

※1 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満は 2ch、J8 CAN インタフェース及び関連部品は未実装

※2 HSBXR631 シリーズマイコンボードはイーサネットインタフェース及び関連部品は未実装

3.3.2 実装コネクタと適合コネクタ

コネクタ		実装コネクタ型名	メーカー	極数	適合コネクタ	メーカー
J4※1	フラッシュインタフェース	H310-020P	Conser	20	FL20A2FO 準拠	OKI 電線、または準拠品
J5※2	デバッグインタフェース	H310-014P	Conser	14	FL14A2FO 準拠	OKI 電線、または準拠品
J6※2※3	デバッグインタフェース	2-5767004-2	Tyco Electronics	38	5767006-1	Tyco Electronics
J7	DC 電源	B2B-XH-A	JST	2	XHP-2	JST
J8※4	CAN2 インタフェース	B4B-XH-A	JST	4	XHP-4	JST
J9	CAN0 インタフェース	B4B-XH-A	JST	4	XHP-4	JST
J10	CAN1 インタフェース	B4B-XH-A	JST	4	XHP-4	JST
J11	USB0 インタフェース (USB-A)	292303-1	Tyco Electronics	4	USB シリーズ Aコネクタ	-
J12	USB0 インタフェース (USB MINI-B)	54819-0572	molex	5	USB シリーズ MINI-B コネクタ	-
J13	USB1 インタフェース (USB MINI-B)	54819-0572	molex	5	USB シリーズ MINI-B コネクタ	-
J14※5	イーサネットインタフェース	HR851181A	HanRun	8	イーサネットケーブル	-

J4・J5 は Conser 製もしくは互換品 (MIL 規格準拠 2.54 ピッチボックスプラグ 切欠 中央1箇所) を使用

※1 フラッシュインタフェースは内蔵 ROM へのプログラム書込み用インタフェース 動作確認済プログラム 弊社製 FM-ONE, FLASH2

※2 デバッグ インタフェースはルネサス エレクトロニクス製 E1,E20 で動作確認済

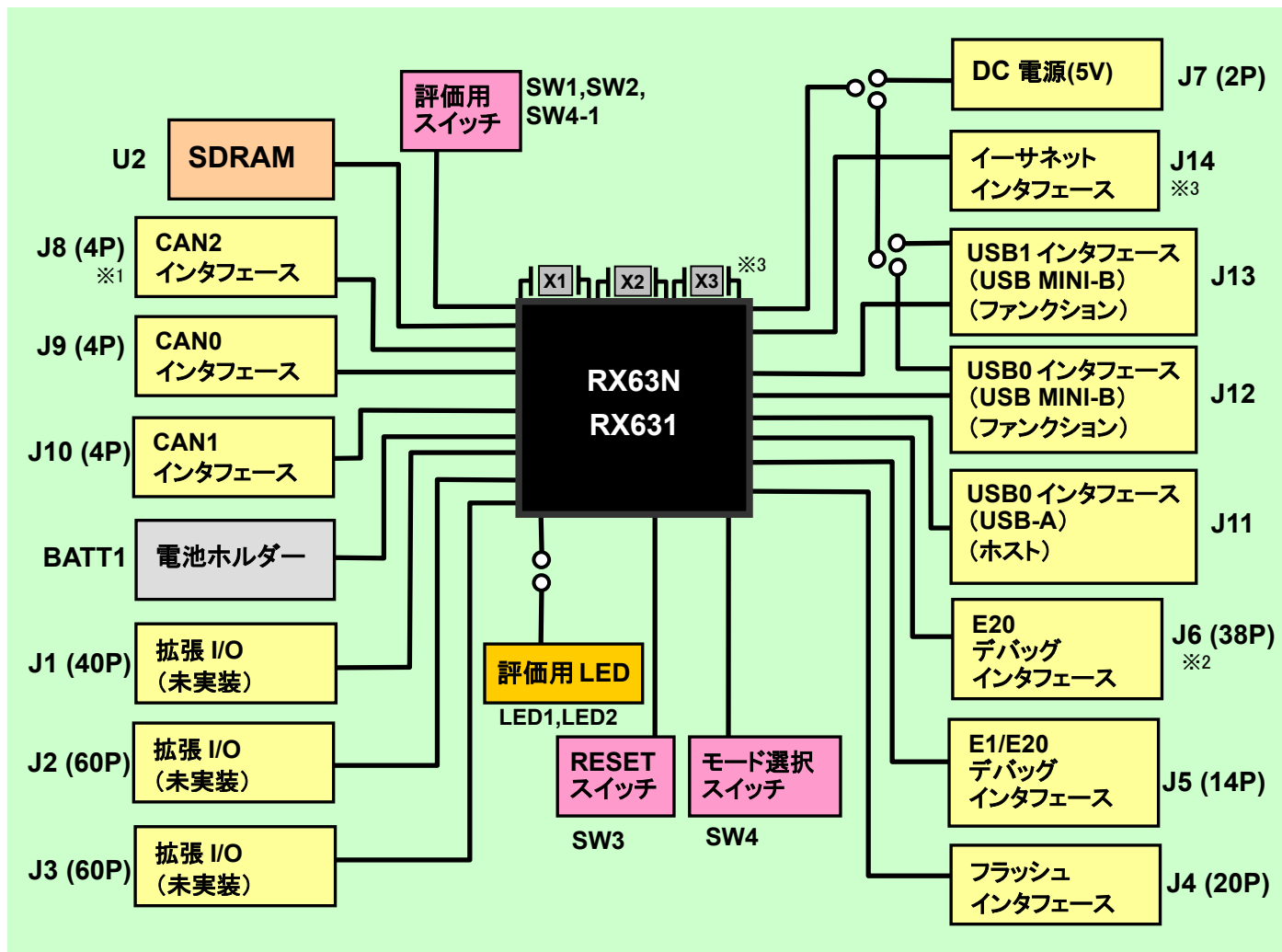
※3 追加オプション

※4 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満は 2ch、J8 CAN インタフェース及び関連部品は未実装

※5 HSBXR631 シリーズマイコンボードはイーサネットインタフェース及び関連部品は未実装

4. ボード構成

4.1 ブロック図



※1 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満は 2ch、J8 CAN インタフェース及び関連部品は未実装

※2 追加オプション

※3 HSBXR631 シリーズマイコンボードはイーサネットインタフェース及び関連部品は未実装

ご注意: 本ブロック図はマイコン機能を表したもので、マルチプレクス機能により同時に使用できないものがありますのでご注意ください。

4.3 電源入力

本ボードの電源供給は以下の 4 通りの方法があります。

- ・J7 DC 電源(5V 外部電源)からの供給
- ・J12 USB 0 インタフェース(USB MINI-B)から 5V 供給
- ・J13 USB 1 インタフェース(USB MINI-B)から 5V 供給
- ・J1_1 から 5V 供給

各電源供給時に J25 ジャンパとJ26 ジャンパの設定が必要となります。

下記表を参考に設定して下さい。

コネクタ 記号	電源供給元	電圧	ボード電源供給先選択ジャンパ (J26)	バスパワー選択ジャンパ (J25)
J7	DC 電源	5V	1-2 ショート	—
J12	USB0 インタフェース	5V	2-3 ショート	2-3 ショート
J13	USB1 インタフェース	5V	2-3 ショート	1-2 ショート
J1_1	拡張 I/O (J1_1)	5V	オープン	—

- ・本ボード製品出荷時は J7 DC 電源からの設定 (J25:オープン、J26:1-2 ショート)になっています
- ・本ボードは J1_1、J7、J12、J13 から 5V の電源供給となり、VCC3.3Vは U6 (レギュレータ)の 5V から生成します。



注意

電源の極性及び過電圧には十分にご注意下さい

- ・ボードに電源を供給する場合は、複数箇所からの電源供給を行わないで下さい。製品の破損、故障の原因となります
- ・極性を誤ったり、規定以上の電圧がかかると、製品の破損、故障、発煙、火災の原因となります
- ・各端子には逆電圧・過電圧防止回路が入っておりません。破損を避けるために、電圧を印加する場合には VSS～VCC の範囲になるようにご注意ください
- ・エミュレータから電源供給をする場合は、マイコンの電源範囲でご使用下さい。その場合、5V で動作する IC は動作致しませんのでご注意ください。

4.4 各種機能

4.4.1 USB0、USB1 インタフェース

本ボードには、USB2.0 フルスピードに対応したホストとファンクションのインタフェースが搭載されています。
また、ホストには過電流検出機能も搭載しています。

USB	インタフェース	バスパワー 選択ジャンパ(J25)	D-プルダウン ジャンパ(J23)	D+プルダウン ジャンパ(J24)
USB0	J11 USB-A (ホスト)	—	1-2 ショート: J11 を使用 (VSS) 2-3 ショート: J11 を使用 (USB0_DRPD) 初期設定 (製品出荷時): 2-3 ショート	1-2 ショート: J11 を使用 (VSS) 2-3 ショート: J11 を使用 (USB0_DRPD) 初期設定 (製品出荷時): 2-3 ショート
	J12 USB MINI-B (ファンクション)	2-3 ショート ボード電源供給	オープン: J12 を使用	オープン: J12 を使用
USB1	J13 USB MINI-B (ファンクション)	1-2 ショート ボード電源供給	—	—

ご注意: J11、J12 は同時に利用することはできません

USB0_OVRCURA 信号制御ジャンパの設定

ジャンパ	備考	初期設定 (製品出荷時状態)
J22	1-2ショート: ホストの過電流保護スイッチを使用する場合 2-3ショート: ファンクションのUSB0_DPUPEを使用する場合 オープン: P14をポートとして使用する場合	2-3 ショート

・P14 信号が出力ポートの時は、J22 はオープンにしてください。

USB ブート

本ボードでは USB ブート時パワーモードの設定がモード選択スイッチ (SW4-1) の切替で行えます。
詳細は「5.動作モード」の章をご覧ください。

コネクタ信号表

J11 USB0 インタフェース (USB-A) (4P)

No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	VOUT (U7)
2	58	USB0_DM
3	59	USB0_DP
4	—	GND (VSS)

J12 USB0 インタフェース (USB MINI-B) (5P)

No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	+5V (J25: 2-3 ショート、J26: 2-3 ショートの場合)
	48 ^{#1}	P16/USB0_VBUS
2	43★ ^{#1}	P22/USB0_DRPD
	58	USB0_DM
3	59	USB0_DP
	51★ ^{#2}	P14/USB0 (DPUPE/OVRCURA)
	38★ ^{#1}	P25/USB0_DPRPD
4	—	NC
5	—	GND (VSS)

J13 USB1 インタフェース (USB MINI-B) (5P)

No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	+5V (J25: 1-2 ショート、J26: 2-3 ショートの場合)
	46 ^{#1}	P17/USB1_VBUS
2	63	USB1_DM
3	64	USB1_DP
	50 ^{#2}	P15/USB1_DPUPE
4	—	NC
5	—	GND (VSS)

★が付いているピンはジャンパの設定で NC になります。

*は負論理です。NC は未接続です。

^{#1} は 15K Ω を介しての接続となります。 ^{#2} は 1.5K Ω を介しての接続となります。

4.4.2 イーサネットインタフェース※

RX63N シリーズマイコン搭載ボード (HSBRX63NC シリーズ) には、100BASE-T 用のインタフェースが 1ch が搭載されています。イーサネットコントローラの搭載により RMI モードで接続が可能です。

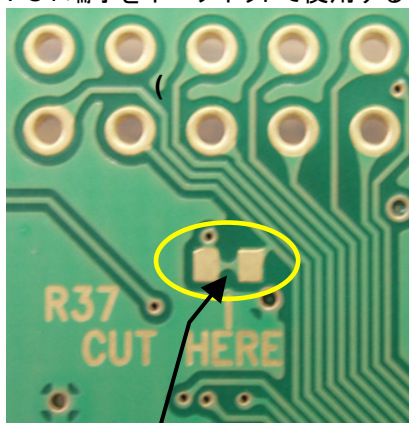
イーサネットコントローラは、SMSC 製 LAN8700IC を使用しています。イーサネットコントローラの詳細は、メーカーの取扱説明書を入手しご確認ください。

- ・PC4 端子はイーサネットコントローラの NRST 信号として使用され、イーサネットコントローラのリセットを制御できます。NRST 信号を High にした後、100us 以上待ってからご使用下さい。
- ・PC4 端子とイーサネットコントローラの NRST 信号の間は R37 で接続しています。製品出荷時はパターンショートされていますので、PC4 端子を通常のポートとして使用する場合は、ボードのパターンをカットしてご使用下さい。(下記【R37 について】をご参照下さい)
- ・イーサネットを使用する時はマルチプレクスで重複する機能は使用できません。イーサネットを使用しない時は、プログラムから PC4 を Low にし、イーサネット関連のポートを無効にすると信号の衝突を防ぐ事ができます。

【R37 について】ハンダ面 J1 パタンの下

製品出荷時

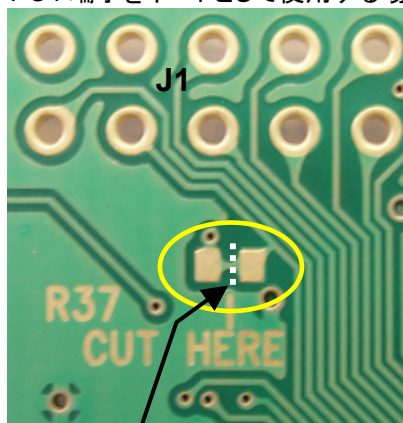
PC4 端子をイーサネットで使用する場合



パターンでのショート



PC4 端子をポートとして使用する場合



パターンをカッター等でカットして下さい(オープンにする)

PC4 端子を再びイーサネットで使用する場合は R37 をハンダでショート及び 0Ω 抵抗でショートして下さい



注意

・パターンをカットする時は、近隣のパターンや部品の破損にご注意下さい。また、お客様の責任の下で行って下さい。

・一つの信号線に対しマイコン、CAN、SDRAM、イーサネット、拡張 I/O 等複数で出力をすると、ボードの破損の原因となりますのでご注意ください。

※ HSBRX631 シリーズマイコンボードはイーサネットインタフェース及び関連部品は未実装

J14 イーサネットインタフェース (10P)コネクタ信号表

No	信号名
1	TX+
2	TX-
3	RX+
4	RX-
5	TCT
6	TCT
7	RCT
8	RCT
9	VSS
10	VSS

U8 イーサネットコントローラ (36P) 信号表

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	NC	2	101	ET_MDC
3	—	NC	4	102	ET_MDIO
5	82	PC4	6	81	RMII_TXD_EN
7	—	VCC	8	—	VDD_CORE
9	—	LED4 (SPEED100)	10	—	LED5 (LINK)
11	—	LED6 (ACTIVITY)	12	—	LED7 (FDUPLEX)
13	—	NC	14	85	X3_3 (CLKIN/XTAL1)
15	—	VCC	16	—	NC
17	88	RMII_RXD1	18	87	RMII_RXD0
19	—	NC	20	—	NC
21	84	RMII_RX_ER	22	—	NC
23	80	RMII_TXD0	24	79	RMII_TXD1
25	—	VCC	26	—	VSS
27	—	VSS	28	—	TD-
29	—	TD+	30	—	VCC
31	—	RD-	32	—	RD+
33	—	VCC	34	—	VSS
35	—	VCC	36	74	RMII_CRS_DV

イーサネット用 LED

LED	備考
LED4	SPEED100
LED5	LINK
LED6	ACTIVITY
LED7	FDUPLEX

*は負論理です。NC は未接続です。

4.4.3 デバッグインタフェース

本ボードはデバッグインタフェースが、J15 E1/E20 用(14P)が標準搭載されています。またオプションで、J6 E20 用(38P)も搭載可能です。E1 及び E20(ルネサス エレクトロニクス社製)の使い方については、各エミュレータの取扱説明書をご確認下さい。

デバッグインタフェース(14P/38P)は、E1 及び E20 で動作確認済みです。

J5 デバッグ インタフェース (14P) E1/E20 用 信号表

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	34	TCK/FINEC/PF1/SCK1	2	—	VSS
3	17	*TRST/PF4	4	10	EMLE
5	35	TDO/PF0/TXD1/SMOSI1/SSDA1	6	—	NC
7	18	MD/FINED	8	—	VCC
9	30	TMS/PF3	10	76	PC7/A23/*CS0/MTIOC3A/MTCLKB/TIOCB6/TMO2/PO31/ET_COL/TXD8/SMOSI8/SSDA8/MISOA/IRQ14
11	31	TDI/PF2/RXD1/SMISO1/SSCL1	12	—	VSS
13	21	*RES	14	—	VSS

ご注意: J5 デバッグインタフェースのコネクタピン番号とルネサス エレクトロニクスのコネクタピン番号の数え方が異なる場合がございますのでご注意ください

J6 デバッグ インタフェース (38P) E20 用 信号表 オプション搭載

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	NC	2	76	PC7/A23/*CS0/MTIOC3A/MTCLKB/TIOCB6/TMO2/PO31/ET_COL/TXD8/SMOSI8/SSDA8/MISOA/IRQ14
3	10	EMLE	4	—	NC
5	—	VSS	6	116	TRCLK/PG5/D29
7	—	NC	8	18	MD/FINED
9	21	*RES	10	—	NC
11	35	TDO/PF0/TXD1/SMOSI1/SSDA1	12	—	VCC
13	—	NC	14	—	VCC
15	34	TCK/FINEC/PF1/SCK1	16	—	NC
17	30	TMS/PF3	18	—	NC
19	31	TDI/PF2/RXD1/SMISO1/SSCL1	20	—	NC
21	17	*TRST/PF4	22	—	NC
23	—	NC	24	111	TRDATA3/PG7/D31
25	—	NC	26	113	TRDATA2/PG6/D30
27	—	NC	28	121	TRDATA1/PG3/D27
29	—	NC	30	123	TRDATA0/PG2/D26
31	—	NC	32	119	*TRSYNC/PG4/D28
33	—	NC	34	—	NC
35	—	NC	36	—	NC
37	—	NC	38	—	NC

*は負論理です。NC は未接続です。

4.4.4 フラッシュインタフェース

本ボードのフラッシュインタフェースに FM-ONE もしくは FLASH2(北斗電子製)を接続し、搭載マイコンの内蔵 ROM にユーザプログラムの書き換えを行う事ができます。(R5F563NFDDFC、R5F5631FDDFC は今後対応予定)
プログラムの使い方については、各プログラムの取扱説明書をご確認下さい。

J4 FLASH インタフェース (20P) 信号表

No	マイコン ピン番号	信号名	No	信号名
1	21	*RES	2	VSS
3	—	NC	4	VSS
5	76	PC7/A23/*CS0/MTIOC3A/MTCLKB/TIOCB6/TMO2/PO31/ ET_COL/TXD8/SMOSI8/SSDA8/MISOA/IRQ14	6	VSS
7	18	MD/FINED	8	VSS
9	10	EMLE	10	VSS
11	—	NC	12	VSS
13	—	NC	14	VSS
15	35	TDO/PF0/TXD1/SMOSI1/SSDA1	16	VSS
17	31	TDI/PF2/RXD1/SMISO1/SSCL1	18	VCC
19	36	P27/*CS7/MTIOC2B/TMCI3/PO7/SCK1/RSPCKB	20	VCC

*は負論理です。NC は未接続です。

4.4.5 モード選択・評価用スイッチ

スイッチ	マイコン ピン番号	信号名	備考
SW4-1※	26	P35/NMI	USB ブート時パワーモード設定 -ON(L) セルフパワー設定 -OFF(H) バスパワー設定
SW4-2	10	EMLE	オンチップエミュレータイネーブル -ON(L) 使用しない -OFF(H) 使用する
SW4-3	76	PC7※/A23/*CS0/MTIOC3A/MTCLKB/ TIOCB6/TMO2/PO31/ET_COL/TXD8/ SMOSI8/SSDA8/MISOA/IRQ14	モード選択スイッチ 「5. 動作モード」参照
SW4-4	18	MD/FINED	

※USB ブートモードでの使用時のバスパワーモードもしくは、セルフパワーモード選択用です。マイコン動作中はポート(P35, PC7)評価用としてご使用頂けます

4.4.6 RESET スイッチ

スイッチ	マイコン ピン番号	信号名	備考
SW3	21	*RES	リセット

*は負論理です。

4.4.7 評価用スイッチ

スイッチ	マイコン ピン番号	信号名	備考
SW1	91	PC0/A16/MTIOC3C/TCLKC/PO17/ET_ERXD3/*CTS5/ *RTS5/*SS5/SSLA1/SCL3/IRQ14	評価用スイッチ (押すと“Low”信号発生)
SW2	89	PC1/A17/MTIOC3A/TCLKD/PO18/ET_ERXD2/SCK5/ SSLA2/SDA3/IRQ12	

該当するポートの内蔵プルアップを ON にしてご使用下さい

*は負論理です。

4.4.8 評価用 LED

LED	マイコン ピン番号	信号名	備考
LED1	8	P00/TMRI0/TXD6/SMOSI6/SSDA6/IRQ8/AN018	Low 出力で点灯
LED2	7	P01/TMCI0/RXD6/SMISO6/SSCL6/IRQ9/AN019	Low 出力で点灯

電流値を増やすポートを有効にしてご使用下さい

評価用 LED イネーブル制御ジャンパの設定

ジャンパ	備考	初期設定(製品出荷時状態)
J21	ショート:使用可能 P00 を LED1 制御として使用、P01 を LED2 制御として使用 オープン:使用不可	ショート

4.4.9 拡張 I/O

本ボードは MIL 規格準拠 2.54 ピッチの拡張 I/O が 3 つ (40P×1 つ、60P×2 つ) あります。

各端子の特性をお調べの上、お客様の責任の下でご使用下さい。

J1 拡張 I/O (40P) 信号表 未実装

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	–	+5V	2	–	VSS
3	74	P83/EDACK1/MTIOC4C/ET_CRS/RMII_CRS_DV/ *CTS10/*RTS10/*SS10	4	76	PC7/A23/*CS0/MTIOC3A/MTCLKB/TIOCB6/TMO2 /PO31/ET_COL/TXD8/SMOSI8/SSDA8/MISOA/ IRQ14
5	77	PC6/A22/*CS1/MTIOC3C/MTCLKA/TIOCA6/ TMC12/PO30/ET_ETXD3/RXD8/SMISO8/SSCL8/ MOSIA/IRQ13	6	78	PC5/A21/*CS2/*WAIT/MTIOC3B/MTCLKD/TIOCD6 /TCLKF/TMRI2/PO29/ET_ETXD2/SCK8/RSPCKA
7	79	P82/EDREQ1/MTIOC4A/PO28/ET_ETXD1/ RMII_TXD1/TXD10/SMOSI10/SSDA10	8	80	P81/EDACK0/MTIOC3D/PO27/ET_ETXD0/ RMII_TXD0/RXD10/SMISO10/SSCL10
9	81	P80/EDREQ0/MTIOC3B/PO26/ET_TX_EN/ RMII_TXD_EN/SCK10	10	82	PC4/A20/*CS3/MTIOC3D/MTCLKC/TIOCC6/ TCLKE/TMC11/PO25/*POE0/ET_TX_CLK/SCK5/ *CTS8/*RTS8/*SS8/SSLA0
11	83	PC3/A19/MTIOC4D/TCLKB/PO24/ET_TX_ER/ TXD5/SMOSI5/SSDA5/IETXD	12	84	P77/*CS7/PO23/ET_RX_ER/RMII_RX_ER/TXD11/ SMOSI11/SSDA11
13	85	P76/*CS6/PO22/ET_RX_CLK/REF50CK/RXD11/ SMISO11/SSCL11	14	86	PC2/A18/MTIOC4B/TCLKA/PO21/ET_RX_DV/ RXD5/SMISO5/SSCL5/SSLA3/IERXD
15	87	P75/*CS5/PO20/ET_ERXD0/RMII_RXD0/SCK11	16	88	P74/*CS4/PO19/ET_ERXD1/RMII_RXD1/*CTS11/ *RTS11/*SS11
17	89	PC1/A17/MTIOC3A/TCLKD/PO18/ET_ERXD2/ SCK5/SSLA2/SDA3/IRQ12	18	91	PC0/A16/MTIOC3C/TCLKC/PO17/ET_ERXD3/ *CTS5/*RTS5/*SS5/SSLA1/SCL3/IRQ14
19	93	P73/*CS3/PO16/ET_WOL	20	94	PB7/A15/MTIOC3B/TIOCB5/PO31/ET_CRS/ RMII_CRS_DV/TXD9/SMOSI9/SSDA9
21	95	PB6/A14/MTIOC3D/TIOCA5/PO30/ET_ETXD1/ RMII_TXD1/RXD9/SMISO9/SSCL9	22	96	PB5/A13/MTIOC2A/MTIOC1B/TIOCB4/TMRI1/ PO29/*POE1/ET_ETXD0/RMII_TXD0/SCK9
23	97	PB4/A12/TIOCA4/PO28/ET_TX_EN/RMII_TXD_EN/ *CTS9/*RTS9/*SS9	24	98	PB3/A11/MTIOC0A/MTIOC4A/TIOCD3/TCLKD/ TMO0/PO27/*POE3/ET_RX_ER/RMII_RX_ER/SCK4/ SCK6
25	99	PB2/A10/TIOCC3/TCLKC/PO26/ET_RX_CLK/ REF50CK/*CTS4/*RTS4/*CTS6/*RTS6/*SS4/*SS6	26	100	PB1/A9/MTIOC0C/MTIOC4C/TIOCB3/TMC10/PO25 /ET_ERXD0/RMII_RXD0/TXD4/TXD6/SMOSI4/ SMOSI6/SSDA4/SSDA6/IRQ4–DS
27	101	P72/*CS2/ET_MDC	28	102	P71/*CS1/ET_MDIO
29	104	PB0/A8/MTIC5W/TIOCA3/PO24/ET_ERXD1/ RMII_RXD1/RXD4/RXD6/SMISO4/SMISO6/SSCL4/ SSCL6/RSPCKA/IRQ12	30	106	PA7/A7/TIOCB2/PO23/ET_WOL/MISOA
31	107	PA6/A6/MTIC5V/MTCLKB/TIOCA2/TMC13/PO22/ *POE2/ET_EXOUT/*CTS5/*RTS5/*SS5/MOSIA	32	108	PA5/A5/TIOCB1/PO21/ET_LINKSTA/RSPCKA
33	109	PA4/A4/MTIC5U/MTCLKA/TIOCA1/TMRI0/PO20/ ET_MDC/TXD5/SMOSI5/SSDA5/SSLA0/IRQ5–DS	34	110	PA3/A3/MTIOC0D/MTCLKD/TIOCD0/TCLKB/PO19 /ET_MDIO/RXD5/SMISO5/SSCL5/IRQ6–DS
35	112	PA2/A2/PO18/RXD5/SMISO5/SSCL5/SSLA3	36	114	PA1/A1/DQM3/MTIOC0B/MTCLKC/TIOCB0/PO17/ ET_WOL/SCK5/SSLA2/IRQ11
37	118	PA0/A0/*BC0/DQM2/MTIOC4A/TIOCA0/PO16/ ET_TX_EN/RMII_TXD_EN/SSLA1	38	128	SDCLK/P70
39	–	VCC	40	–	VSS

*は負論理です。NC は未接続です。



注意

一部を除き入力信号の振幅が VCC と VSS を超えないようにご注意ください。

アナログ信号の振幅が AVCC と VSS を超えないようにご注意ください。

規定以上の振幅の信号が入力された場合、永久破壊の原因となります。

J2 拡張 I/O (60P) 信号表 未実装

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	–	VCC	2	–	VSS
3	120	P67/*CS7/DQM1/CRX2(注 1)/IRQ15	4	122	P66/*CS6/DQM0/CTX2(注 1)
5	124	P65/*CS5/CKE	6	136	P64/*CS4/*WE
7	137	P63/*CS3/*CAS	8	138	P62/*CS2/*RAS
9	139	P61/*CS1/*SDCS	10	141	P60/*CS0
11	125	PE7/D15[A15/D15]/TIOCB11/MISOB/IRQ7/AN5	12	126	PE6/D14[A14/D14]/TIOCA11/MOSIB/IRQ6/AN4
13	130	PE5/D13[A13/D13]/MTIOC4C/MTIOC2B/TIOCB10/ ET_RX_CLK/REF50CK/RSPCKB/IRQ5/AN3	14	131	PE4/D12[A12/D12]/MTIOC4D/MTIOC1A/TIOCA10/ PO28/ET_ERXD2/SSLB0/AN2
15	132	PE3/D11[A11/D11]/MTIOC4B/TIOCB9/PO26/ *POE8/ET_ERXD3/*CTS12/*RTS12/*SS12/ MISOB/AN1	16	133	PE2/D10[A10/D10]/MTIOC4A/TIOCA9/PO23/ RXD12/SMISO12/SSCL12/RXD12/SSLB3/MOSIB/ IRQ7-DS/AN0
17	134	PE1/D9[A9/D9]/MTIOC4C/TIOCD9/PO18/TXD12/ SMOSI12/SSDA12/TXD12/SIOX12/SSLB2/ RSPCKB/ANEX1	18	135	PE0/D8[A8/D8]/TIOCC9/SCK12/SSLB1/ANEX0
19	143	PD7/D7[A7/D7]/MTIC5U/*POE0/SSLC3/IRQ7/ AN7	20	145	PD6/D6[A6/D6]/MTIC5V/*POE1/SSLC2/IRQ6/ AN6
21	147	PD5/D5[A5/D5]/MTIC5W/*POE2/SSLC1/IRQ5/ AN013	22	148	PD4/D4[A4/D4]/*POE3/SSLC0/IRQ4/AN012
23	150	PD3/D3[A3/D3]/TIOCB8/TCLKH/*POE8/RSPCKC/ IRQ3/AN011	24	154	PD2/D2[A2/D2]/MTIOC4D/TIOCA8/MISOC/ CRX0/IRQ2/AN010
25	156	PD1/D1[A1/D1]/MTIOC4B/TIOCB7/TCLKG/ MOSIC/CTX0/IRQ1/AN009	26	158	PD0/D0[A0/D0]/TIOCA7/IRQ0/AN008
27	144	PG1/D25	28	146	PG0/D24
29	149	P97/A23/D23	30	152	P96/A22/D22
31	155	P95/A21/D21	32	157	P94/A20/D20
33	159	P93/A19/D19/*CTS7/*RTS7/*SS7/AN017	34	160	P92/A18/D18/RXD7/SMISO7/SSCL7/AN016
35	161	P91/A17/D17/SCK7/AN015	36	163	P90/A16/D16/TXD7/SMOSI7/SSDA7/AN014
37	165	P47/IRQ15-DS/AN007	38	166	P46/IRQ14-DS/AN006
39	167	P45/IRQ13-DS/AN005	40	168	P44/IRQ12-DS/AN004
41	169	P43/IRQ11-DS/AN003	42	170	P42/IRQ10-DS/AN002
43	171	P41/IRQ9-DS/AN001	44	173	P40/IRQ8-DS/AN000
45	172	VREFL0	46	174	VREFH0
47	–	NC	48	–	AVCC0
49	–	NC	50	–	AVSS0
51	176	P07/IRQ15/*ADTRG0	52	2	P05/IRQ13/DA1
53	4	P03/IRQ11/DA0	54	6	P02/TMC11/SCK6/IRQ10/AN020
55	7	P01/TMC10/RXD6/SMISO6/SSCL6/IRQ9/AN019	56	8	P00/TMRI0/TXD6/SMOSI6/SSDA6/IRQ8/AN018
57	11	PJ5	58	13	PJ3/MTIOC3C/*CTS6/*RTS6/*CTS0/*RTS0/ *SS6/*SS0
59	–	VCC	60	–	VSS

(注 1) 内蔵 ROM 容量 2MB/1.5MB のみ有効
*は負論理です。NC は未接続です。



注意

一部を除き入力信号の振幅が VCC と VSS を超えないようにご注意ください。
アナログ信号の振幅が AVCC と VSS を超えないようにご注意ください。
規定以上の振幅の信号が入力された場合、永久破損の原因となります。

J3 拡張 I/O (60P) 信号表 未実装

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	VCC	2	—	VSS
3	21	*RES	4	72	P50/*WR0/*WR/TXD2/SMOSI2/SSDA2/SSLB1
5	71	P51/*WR1/*BC1/*WAIT/SCK2/SSLB2	6	70	P52/*RD/RXD2/SMISO2/SSCL2/SSLB3
7	68	P53(注 2)/BCLK	8	67	P54/ALE/EDACK0/MTIOC4B/TMCi1/ET_LINKSTA/ *CTS2/*RTS2/*SS2/CTX1
9	66	P55/*WAIT/EDREQ0/MTIOC4D/TMO3/ET_EXOUT/C RX1/IRQ10	10	62	P56/*WR2/*BC2/EDACK1/MTIOC3C/TIOCA1
11	61	P57/*WAIT/*WR3/*BC3/EDREQ1	12	69	P84
13	52	P85	14	49	P86/TIOCA0
15	47	P87/TIOCA2	16	111	TRDATA3/PG7/D31
17	113	TRDATA2/PG6/D30	18	116	TRCLK/PG5/D29
19	119	*TRSYNC/PG4/D28	20	121	TRDATA1/PG3/D27
21	123	TRDATA0/PG2/D26	22	56	P10/MTIC5W/TMRI3/IRQ0
23	55	P11/MTIC5V/TMCi3/SCK2/IRQ1	24	54	P12/MTIC5U/TMCi1/RXD2/SMISO2/SSCL2/ SCL0[FM+]/IRQ2
25	53	P13/MTIOC0B/TIOCA5/TMO3/PO13/TXD2/ SMOSI2/SSDA2/SDA0[FM+]/IRQ3/*ADTRG	26	51	P14/MTIOC3A/MTCLKA/TIOCB5/TCLKA/TMRI2/ PO15/*CTS1/*RTS1/*SS1/CTX1/USB0_DPUPE/ USB0_OVRCURA/IRQ4
27	50	P15/MTIOC0B/MTCLKB/TIOCB2/TCLKB/TMCi2/PO 13/RXD1/SCK3/SMISO1/SSCL1/CRX1-DS/ USB1_DPUPE/IRQ5	28	48	P16/MTIOC3C/MTIOC3D/TIOCB1/TCLKC/TMO2/ PO14/RTCOUT/TXD1/RXD3/SMOSI1/SMISO3/ SSDA1/SSCL3/MOSIA/SCL2-DS/IERXD/ USB0_VBUS/USB0_VBUSEN/USB0_OVRCURB/ IRQ6/*ADTRG0
29	46	P17/MTIOC3A/MTIOC3B/TIOCB0/TCLKD/TMO1/ PO15/*POE8/SCK1/TXD3/SMOSI3/SSDA3/MISOA/ SDA2-DS/IETXD/USB1_VBUS/IRQ7/*ADTRG	30	45	P20/MTIOC1A/TIOCB3/TMRI0/PO0/TXD0/SMOSI0 /SSDA0/SDA1/USB0_ID/IRQ8
31	44	P21/MTIOC1B/TIOCA3/TMCi0/PO1/RXD0/SMISO0/ SSCL0/SCL1/USB0_EXICEN/IRQ9	32	43	P22/EDREQ0/MTIOC3B/MTCLKC/TIOCC3/TMO0/ PO2/SCK0/USB0_DRPD
33	42	P23/EDACK0/MTIOC3D/MTCLKD/TIOCD3/PO3/ TXD3/*CTS0/*RTS0/SMOSI3/*SS0/SSDA3/ USB0_DPUPE	34	40	P24/*CS4/EDREQ1/MTIOC4A/MTCLKA/TIOCB4/ TMRI1/PO4/SCK3/USB0_VBUSEN
35	38	P25/*CS5/EDACK1/MTIOC4C/MTCLKB/TIOCA4/ PO5/RXD3/SMISO3/SSCL3/USB0_DPRPD/*ADTRG0	36	37	P26/*CS6/MTIOC2A/TMO1/PO6/TXD1/*CTS3/ *RTS3/SMOSI1/*SS3/SSDA1/MOSIB
37	36	P27/*CS7/MTIOC2B/TMCi3/PO7/SCK1/RSPCKB	38	35	TDO/PF0/TXD1/SMOSI1/SSDA1
39	34	TCK/FINEC/PF1/SCK1	40	31	TDI/PF2/RXD1/SMISO1/SSCL1
41	30	TMS/PF3	42	17	*TRST/PF4
43	33	P30/MTIOC4B/TMRI3/PO8/RTCIC0/*POE8/RXD1/ SMISO1/SSCL1/MISOBUS0_DRPD/IRQ0-DS	44	32	P31/MTIOC4D/TMCi2/PO9/RTCIC1/*CTS1/ *RTS1/*SS1/SSLB0/USB0_DPUPE/IRQ1-DS
45	29	P32/MTIOC0C/TIOCC0/TMO3/PO10/RTCOUT/ RTCIC2/TXD6/TXD0/SMOSI6/SMOSI0/SSDA6/ SSDA0/CTX0/USB0_VBUSEN/IRQ2-DS	46	28	P33/MTIOC0D/TIOCD0/TMRI3/PO11/*POE3/RXD6 /RXD0/SMISO6/SMISO0/SSCL6/SSCL0/CRX0/ IRQ3-DS
47	27	P34/MTIOC0A/TMCi3/PO12/*POE2/SCK6/SCK0/ USB0_DPRPD/IRQ4	48	26	P35/NMI
49	24	EXTAL/P36	50	22	XTAL/P37
51	20	XCOUT	52	9	PF5/IRQ4
53	—	NC	54	—	NC
55	—	NC	56	—	NC
57	15	VBATT	58	—	NC
59	—	VCC	60	—	VSS

(注 2) 外部バス有効時、BCLK 端子と兼用している P53 は、I/O ポートとして使用できません。

*は負論理です。NC は未接続です。

P36,P37 端子使用時の設定について

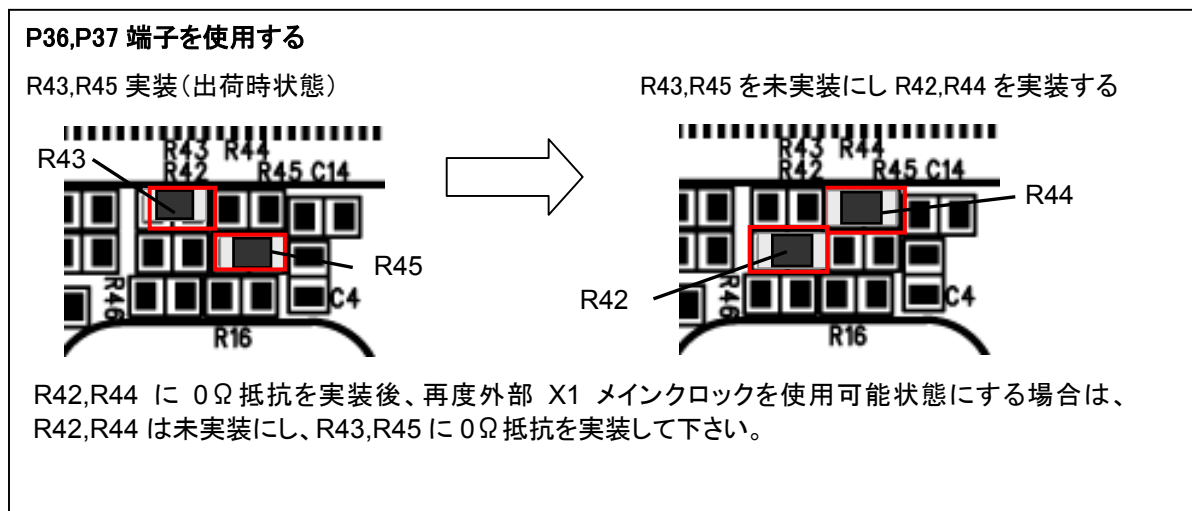
P36,P37 端子を J3 拡張 I/O インタフェースで使用する場合は、マイコン実装面にある R42～R45 の 0Ω 抵抗を変更する必要があります。

(出荷時 R43,R45 実装、R42,R44 未実装)

詳細は下記図をご参照下さい。

P36,P37 をポートとして J3 拡張 I/O インタフェースで使用する場合は、内蔵クロックをご利用下さい。

出荷時状態では、ボード上の外部 X1 メインクロックが使用可能な状態になっています。



注意

R42～R45 を変更する時は、近隣のパターンや部品の破損にご注意下さい。また、お客様の責任の下で行って下さい。

4.4.10 電池ホルダー

本ボードのバッテリーホルダー-BATT1 に電池を挿入する事でマイコンの持つバッテリーバックアップ機能を手軽にご利用可能です。

機能の詳細はルネサス エレクトロニクス株式会社 RX63N グループ、RX631 グループハードウェアマニュアルをご確認下さい。

動作検証済電池

メーカー	型名	電圧
maxell	CR1220	3V

4.4.1.1 CAN0～CAN2 インタフェース

本ボードには、最大 3 つの CAN インタフェースの搭載が可能です。※

各 CAN インタフェースには CAN バストランシーバ実装済で最大 3 つの 5V の CAN ネットワークに接続が可能です。ネットワーク上に終端がない場合でも、J15～J17 をショートする事によってボード上で終端できます。

CAN0～CAN2 を使用する際は、それぞれの CAN トランシーバの RXD 端子をマイコン端子の CRX0～CRX2 に接続する必要があります。

各 CAN の設定表

CAN	インタフェース	終端抵抗	CAN バストランシーバ接続
CAN0	J9	J16 ショート: 終端を使用する オープン: 使用しない 製品出荷時 (初期設定): ショート	J19 ショート: 接続 (CRX0 として使用) オープン: 未接続 製品出荷時 (初期設定): ショート
CAN1	J10	J17 ショート: 終端を使用する オープン: 使用しない 製品出荷時 (初期設定): ショート	J20 ショート: 接続 (CRX1 として使用) オープン: 未接続 製品出荷時 (初期設定): ショート
CAN2※	J8	J15 ショート: 終端を使用する オープン: 使用しない 製品出荷時 (初期設定): ショート	J18 ショート: 接続 (CRX2 として使用) オープン: 未接続 製品出荷時 (初期設定): ショート

- ・エミュレータからの 3.3V もしくは、電池からの 3V が供給されている時は、CAN は動作しません。
- ・CAN2 の信号線は SDRAM の信号線の一部と重複しております。信号の衝突をさける為、CAN2 を使用する時は SDRAM を無効にして下さい。無効にする手順は、SDRAM の章をご覧ください。
- ・CAN を使用する時はマルチプレクスで重複する機能は使用できません。CAN を使用しない場合は、各 CAN の受信信号接続ジャンパ (J18～J20) をオープンにする事で、信号の衝突を防ぐ事ができます。

コネクタ信号表

J8 CAN2 インタフェース (4P) ※

No	信号名
1	VSS
2	CANL
3	CANH
4	+5V

J9 CAN0 インタフェース (4P)

No	信号名
1	VSS
2	CANL
3	CANH
4	+5V

J10 CAN1 インタフェース (4P)

No	信号名
1	VSS
2	CANL
3	CANH
4	+5V

※ 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満は J8 CAN インタフェース及び関連部品は未実装



注意

一つの信号線に対しマイコン、CAN、SDRAM、イーサネット、拡張 I/O 等複数で出力をすると、ボードの破損の原因となりますのでご注意ください。

4.4.12 SDRAM

本ボードは、外部メモリとしてデータ幅 16bit の SDRAM (32MB) を搭載しています。

SDRAM は Micron 製 MT48LC16M16A2 を使用しています。SDRAM の詳細は、メーカーの取扱説明書を入手しご確認ください。

*CS 信号制御ジャンパの設定

ジャンパ	備考	初期設定(製品出荷時状態)
J27	ショート: マイコンから SDRAM を使用する※ オープン: SDRAM を無効にする	ショート

※ SDRAM をご使用になる場合、外部バスを有効にする必要があります。

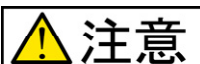
- ・SDRAM を使用する時は SDRAM の信号線の一部と重複している為、CAN2 は使用できません。
- ・SDRAM を使用する時はマルチプレクスで重複する機能も使用できません。SDRAM を使用しない時は、J27 ジャンパをオープンにする事で*CS レベルを High にし信号の衝突を防ぐ事ができます。

U2 SDRAM (54P) 信号表

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	—	VCC	2	158	D0
3	—	VCC	4	156	D1
5	154	D2	6	—	VSS
7	150	D3	8	148	D4
9	—	VCC	10	147	D5
11	145	D6	12	—	VSS
13	143	D7	14	—	VCC
15	122	DQM0	16	136	*WE
17	137	*CAS	18	138	*RAS
19	139★	*SDCS	20	95	A14
21	94	A15	22	98	A11
23	114	A1	24	112	A2
25	110	A3	26	109	A4
27	—	VCC	28	—	VSS
29	108	A5	30	107	A6
31	106	A7	32	104	A8
33	100	A9	34	99	A10
35	97	A12	36	96	A13
37	124	CKE	38	128	SDCLK
39	120	DQM1	40	—	NC
41	—	VSS	42	135	D8
43	—	VCC	44	134	D9
45	133	D10	46	—	VSS
47	132	D11	48	131	D12
49	—	VCC	50	130	D13
51	126	D14	52	—	VSS
53	125	D15	54	—	VSS

*は負論理です。NC は未接続です。

★が付いているピンはジャンパの設定で NC になります



一つの信号線に対しマイコン、CAN、SDRAM、イーサネット、拡張 I/O 等複数で出力をすると、ボードの破損の原因となりますのでご注意ください。

5. 動作モード

マイコン動作モードは下記の 5 通りのモードがあります。

- ・シングルチップモード
- ・内蔵 ROM 有効拡張モード
- ・内蔵 ROM 無効拡張モード
- ・ブートモード (SCI ブート)
- ・ユーザブートモード
- ・USB ブートモード

本ボード、モード選択スイッチでの設定は次項「5.1 ブートモード選択」をご参照下さい。

尚、各モードの詳細はルネサス エレクトロニクス株式会社 RX63N グループ、RX631 グループハードウェアマニュアルをご確認下さい。

5.1 ブートモード選択

マイコン内蔵 ROM への書込みはブートモード時に行います。

動作モード	モード端子				内蔵 ROM※
	SW4-1 P35	SW4-2 EMLE	SW4-3 PC7	SW4-4 MD	
ブートモード (SCI ブート)	—	—	Low (ON 側)	Low (ON 側)	有効
ユーザブートモード/ USB ブートモード	USB ブートモード時 Low (ON 側) セルフパワー設定 High (数字側) バスパワー設定		High (数字側)		有効
シングルチップモード (プログラム動作モード)	—	—	—	High (数字側)	有効

※内蔵 ROM には ROM、E2 データフラッシュがあります。詳細はルネサス エレクトロニクス株式会社 RX63N グループ、RX631 グループハードウェアマニュアルをご確認下さい。

モード設定例 ブートモード (SCI ブート) 動作時の場合

SW4 を下記の様に設定して下さい



SW4-3 PC7:
ON 側 (Low)

SW4-4 MD :
ON 側 (Low)

SW4-2 は ON 側に設定して下さい

5.2 オンボードプログラマ使用時の端子設定

本ボードと弊社オンボードプログラマを接続する際、オンボードプログラマよりマイコンのモード設定(ブートモード)が可能です。その為オンボードプログラマ側には下記の設定を行って下さい。

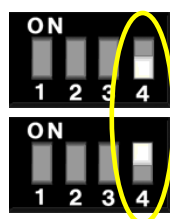
設定項目	設定	コネクタ	接続端子
FWE	Z	3 番	NC
MD0	L	5 番	PC7
MD1	L	7 番	MD
I/O0	Z	9 番	NC
I/O1	Z	11 番	NC
I/O2	Z	13 番	NC

L=Low, H=High, Z=High-Z

対応オンボードプログラマ: FM-ONE ・FLASH2

例 オンボードプログラマ接続時の SW4 設定

書き込み時のモード制御はオンボードプログラマから行いますのでボード側では特に設定は必要ありません。
ただし SW4-4 設定によって書き込み終了後の挙動が異なります。



SW4-4 MD
OFF 側(H) プログラム実行

SW4-4 MD
ON 側(L) 再びブートモード

6. メモリマップ

マイコン側仕様は必ずルネサス エレクトロニクス株式会社当該ハードウェアマニュアルをご確認下さい。

H'0000 0000	内蔵RAM
H'0002 0000	予約領域
H'0008 0000	周辺 I/O レジスタ
H'0010 0000	内蔵 ROM (E2 データフラッシュ)
H'0010 8000	予約領域
H'007F 8000	FCU-RAM 領域
H'007F A000	予約領域
H'007F C000	周辺 I/O レジスタ
H'007F C500	予約領域
H'007F FC00	周辺 I/O レジスタ
H'0080 0000	予約領域
H'0100 0000	外部アドレス空間 (CS 領域)
H'0800 0000	オンボード SDRAM
H'0A00 0000	外部アドレス空間 (SDRAM 領域)
H'1000 0000	予約領域
H'FEFF E000	内蔵 ROM ※1 (FCU ファーム)
H'FF00 0000	予約領域
H'FF7F C000	内蔵 ROM ※1 (ユーザブート)
H'FF80 0000	予約領域
H'FFE0 0000	内蔵 ROM ※1 ※2 (プログラム ROM)
H'FFFF FFFF	

※1 読み出し専用です。

※2 実装マイコンにより、ROM 容量が異なります。
下記表のアドレスに置き換えて下さい。

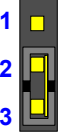
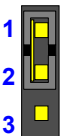
ROM 容量	アドレス
2M	H'FFE0 0000 ~ H'FFFF FFFF
1.5M	H'FFE8 0000 ~ H'FFFF FFFF
1M	H'FFF0 0000 ~ H'FFFF FFFF
768K	H'FFF4 0000 ~ H'FFFF FFFF

7. こんな時は

Q1 USB バスパワーで電源供給をする場合の設定方法は？

A1 ジャンパの設定が必要です。設定方法は下記をご参照下さい。

・ボード電源供給先選択ジャンパ(J26) と バスパワー選択ジャンパ(J25)の設定

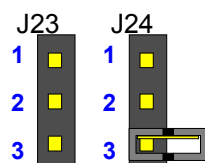
電源供給元	J26 ジャンパ	J25 ジャンパ
J12 から供給する場合 (USB MINI-B)	 2-3 ショート	 2-3 ショート
J13 から供給する場合 (USB MINI-B)	 2-3 ショート	 1-2 ショート

Q2 USB を使って通信をする場合の設定方法は？

A2 本ボードには、ファンクションが 2 つ、ホストが 1 つ搭載しています。各機能を使う場合は下記の設定を参照して下さい。

ファンクション(J12)を使う場合 (J13 を使う場合はジャンパ等の設定の必要はありません)

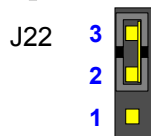
・D-プルダウンジャンパ(J23)と D+プルダウンジャンパ(J24)の設定



J23 と J24 をオープンにして下さい

(ジャンパプラグを外す、もしくはいずれかの 1 ピンにはめる)

・USB0_OVRCIRA 信号制御ジャンパ(J22)の設定

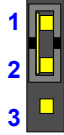
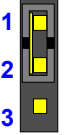
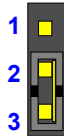
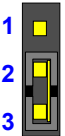


J22 を 2-3 ショートにして下さい

ホスト(J11)を使う場合

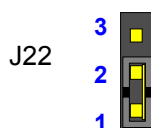
・D-プルダウンジャンパ(J23)と D+プルダウンジャンパ(J24)の設定

接続端子によって、下記の様にジャンパプラグでショートして下さい

接続先	J23 ジャンパ	J24 ジャンパ
VSS	 1-2 ショート	 1-2 ショート
マイコン: USB0_DRPD	 2-3 ショート	 2-3 ショート

・過電流検出機能を使用する場合

USB0_OVRCIRA 信号制御ジャンパ(J22)を 1-2 ショートして下さい



J22 を 1-2 ショートにして下さい

(過電流保護スイッチを使用しない場合はオープン)

Q3 イーサネットを使って通信をする場合の設定方法は？

A3 PC4 を High にする事で、PHY の NRST を解除する必要があります。また、プログラムでイーサネット関連のポートを有効※にしてください。

※詳細はルネサス エレクトロニクス株式会社 RX63N グループ、RX631 グループハードウェアマニュアルおよび、SMSC 社 LAN8700IC の取扱説明書をご確認ください。

Q4 エミュレータでデバッグをする場合の設定方法は？

A4 モード選択スイッチ (SW4) での設定が必要です。設定方法は下記をご参照下さい。

モード選択スイッチの設定 (SW4)



・SW4-2 を OFF 側 (H) に設定して下さい

J5_4, J6_3 に EMLE 信号が出ているので、デバッグによっては自動制御されます

・エミュレータと本ボードを接続していない時は「SW4-2」は ON 側 (L) に設定して下さい

Q5 プログラマを使って書き込みをする場合の設定方法は？

A5 モード選択スイッチ (SW4) での設定が必要です。設定方法は下記をご参照下さい。

モード選択スイッチの設定 (プログラマで書き込む場合) (SW4)

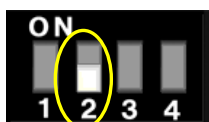


・SW4-2 を ON 側 (L) に設定して下さい
・SW4-3 を ON 側 (L) に設定して下さい
・SW4-4 を ON 側 (L) に設定して下さい

Q6 エミュレータで書き込みをする場合の設定方法は？

A6 モード選択スイッチ (SW4) での設定が必要です。設定方法は下記をご参照下さい。

モード選択スイッチの設定 (エミュレータで書き込む場合) (SW4)



・SW4-2 を OFF 側 (H) に設定して下さい

・エミュレータと本ボードを接続していない時は「SW4-2」は ON 側 (L) に設定して下さい

Q7 評価用スイッチを使う場合の設定方法は？

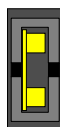
A7 プログラムで PC0、PC1 をポートアウトプットイネーブル 2 (POE2) を使用してプルアップして下さい。

Q8 評価用 LED を使う場合の設定方法は？

A8 ジャンパの設定が必要です。設定ジャンパは下記をご参照下さい。

評価用 LED イネーブル制御ジャンパの設定 (J21)

J21



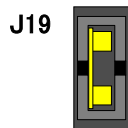
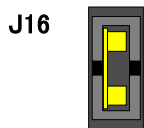
J21 ジャンパをジャンパプラグでショートさせます

Q9 CAN を使う場合の設定方法は？

A9 各 CAN に対応したジャンパの設定が必要です。設定ジャンパは下記をご参照下さい。尚、使用しない CAN は設定の必要はありません。

設定 1 CAN0 を使用する場合

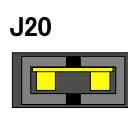
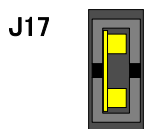
- ・CAN 終端抵抗イネーブル制御ジャンパの設定 (J16)
- ・CAN 受信信号接続ジャンパの設定 (J19)



J16 と J19 ジャンパをジャンパプラグでショートさせます

設定 2 CAN1 を使用する場合

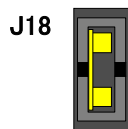
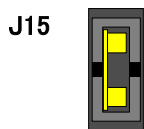
- ・CAN 終端抵抗イネーブル制御ジャンパの設定 (J17)
- ・CAN 受信信号接続ジャンパの設定 (J20)



J17 と J20 ジャンパをジャンパプラグでショートさせます

設定 3 CAN2 を使用する場合※

- ・CAN 終端抵抗イネーブル制御ジャンパの設定 (J15)
- ・CAN 受信信号接続ジャンパの設定 (J18)



J15 と J18 ジャンパをジャンパプラグでショートさせます

※ 搭載マイコン内蔵 ROM 容量 1.5MB 未満はご使用できません

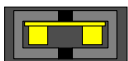
Q10 SDRAM を使う場合の設定方法は？

A10 ジャンパの設定とマイコンの外部バス設定が必要です。詳細は下記をご参照下さい。

設定 1 ジャンパの設定

- ・*CS 信号制御ジャンパの設定 (J27)

J27



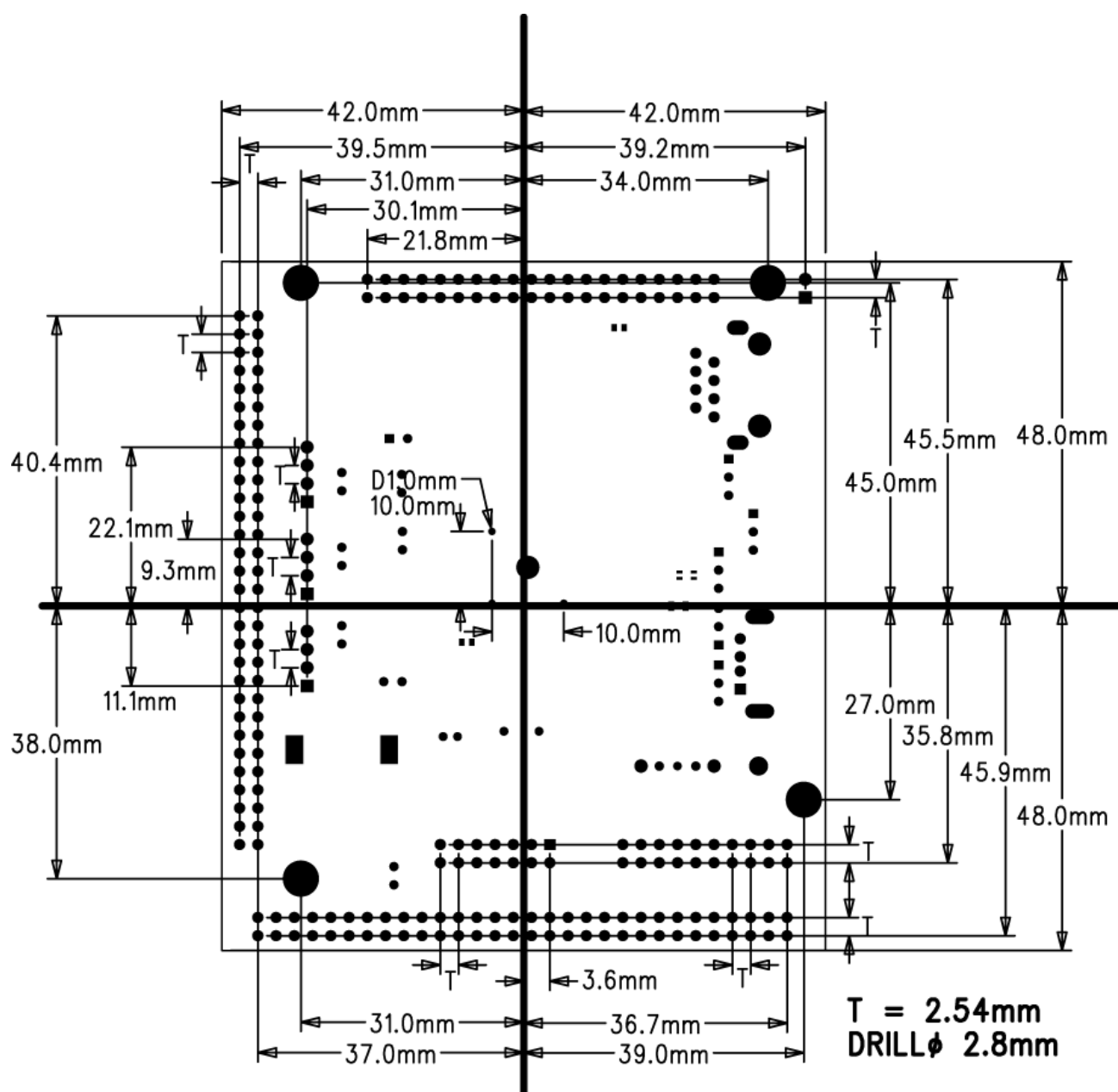
J27 ジャンパをジャンパプラグでショートさせます

設定 2 マイコンの外部バス設定 (外部バスを有効にする※)

※詳細はルネサス エレクトロニクス株式会社 RX63N グループ、RX631 グループハードウェアマニュアルおよび、Micron 社 MT48LC16M16A2 の取扱説明書をご確認下さい。

8. 付録

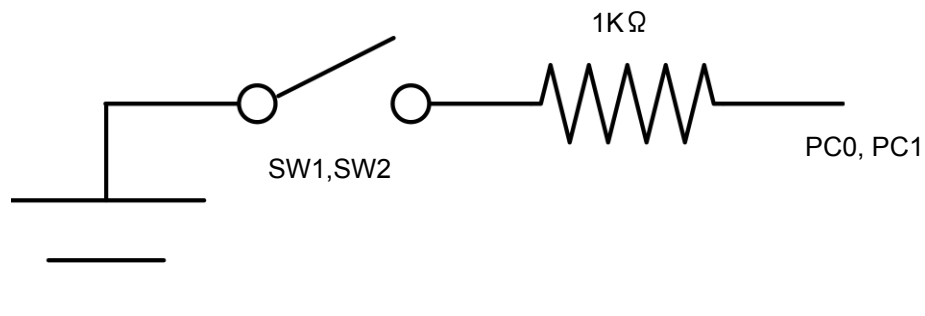
8.1 ボード寸法図



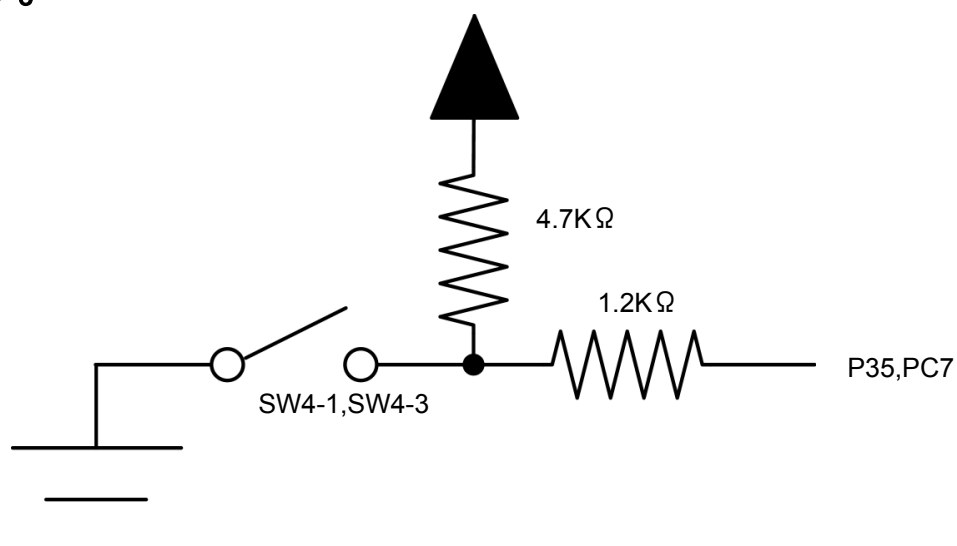
8.2 評価用スイッチ・LED 回路図

8.2.1 評価用スイッチ

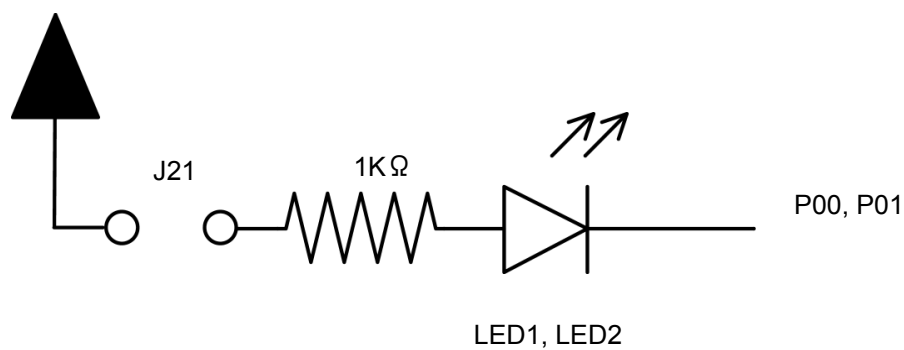
SW1,SW2



SW4-1,SW4-3



8.2.2 評価用LED



8.4 取扱説明書改定記録

バージョン	発行日	ページ	改定内容
REV.1.0.0.0	2011.12.14	-	初版発行
REV.1.0.1.0	2011.12.16	19	4.4.11 CAN0～CAN2 インタフェース:説明文及び表内説明一部修正
REV.2.0.0.0	2012.05.10	6	3.3.1 マイコンボード 実装クロック 16MHz →12MHz へ変更
		8	4.2 ボード配置図 VER1.0a → VER1.1 へ変更
		11	4.4.2 イーサネットインタフェース 【R37 について】写真変更
		12	U8 イーサネットコントローラ信号表 No.20 REF50CK → NC へ変更
		14	J4 フラッシュインタフェース信号表 No.9 NC → EMLE へ変更
		27	8.1 ボード寸法図 VER1.1 基板の寸法図に変更
REV.2.1.0.0	2012.07.09	10	4.4.1 USB0,USB1 インタフェース USB ブートに関する説明修正
		14	4.4.5 モード選択・評価用スイッチ USB ブートに関する説明修正
		21	5.2 ブートモード選択 注釈(※2)追加 USB ブートに関する説明修正
REV.3.0.0.0	2012.08.29	—	USB 対応ボード版内容に変更(USB ブードに関する事項追記) 基板バージョン VER1.1 →VER1.2a へ変更(関連する図等も変更)
		5	3.2 製品内容 付属ケーブル(JST)明記
		6	3.3.1 マイコンボード:消費電流実測値追加 3.3.2 実装コネクタと適合コネクタ:J7～J10 部品変更
		19	P36,P37 端子使用時の設定について 追記
		28	8.1 ボード寸法図 VER1.2a 基板の寸法図に変更
		30	8.3 ボード購入時の状態 追記
REV.3.0.1.0	2012.11.21	2	1.注意事項「免責事項」内容一部追加
		10	4.4.1 USB0、USB1 インタフェース「注意」内容変更 J12 USB0 インタフェース信号表 No.3「★」追記
		12	U8 イーサネット信号表 No.8 NC → VDD_CORE に変更, No.14 X3_3 →X3_3(CLKIN/XTAL1)に変更
		13	4.4.1 デバッグインタフェース 注意文一部修正
REV.3.0.2.0	2013.11.20	6	3.3.2 実装コネクタと適合コネクタ J12, J13 適合コネクタ訂正
REV.3.1.0.0	2014.1.27	6	3.3.2 実装コネクタと適合コネクタ J14 実装コネクタ型名およびメーカー名変更
REV.3.1.1.0	2014.6.6	10	4.4.1 USB0、USB1 インタフェース 注意文訂正
REV.3.1.2.0	2015.1.9	10	4.4.1 USB0、USB1 インタフェース USB0_OVRCIRA→USB0_OVRCURA に変更 コネクタ信号表 誤記修正
REV.3.2.0.0	2015.3.16	6	3.3.1 実装マイコン型名に R5F563NFDDFC、R5F5631FDDFC 追加 CAN バストランシーバに(又は同等品)の文言追加 SDRAM K4S561632(SAMSUNG 製) → MT48LC16M16A2(Micron 製)に変更
		14	4.4.4 フラッシュインタフェース R5F563NFDDFC、R5F5631FDDFC は今後対応予定の旨追加
		21	4.4.12 SAMSUNG 製 K4S561632→Micron 製 MT48LC16M16A に変更
		27	Q10 ※印内の SAMSUNG 社を Micron 社に変更

8.5 お問い合わせ窓口

最新情報については弊社ホームページをご活用下さい。

ご不明点は弊社サポート窓口までお問合せ下さい。

株式会社 **北斗電子**

〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目 3 番地 7

TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801

e-mail: support@hokutodenshi.co.jp (サポート用)、order@hokutodenshi.co.jp (ご注文用)

URL:http://www.hokutodenshi.co.jp

ルネサス エレクトロニクス RX63N グループ、RX631 グループマイコン搭載
HSB シリーズマイコンボード

HSBRX63NC シリーズ

HSBRX631C シリーズ

取扱説明書

株式会社 **北斗電子**

©2011-2015 北斗電子 Printed in Japan 2011 年 12 月 14 日初版 REV.3.2.0.0 (150316)